

うめっこ育て隊日記 ⑦4 平成31年1月15日(火)

中学2年生は毎年5月に、村内事業所の協力を得て職場体験学習を行っています。「職場体験学習の前に心構えを教えてほしい」と中学校の先生から依頼があり、教育委員会のKさんが、1年生のみんなに講義をしました。

Kさん手作りの学習ノートに添って、「働くとは」から始まり、「憲法で決められている国民の義務」「社会の産業構造」などの話の後、「職場体験学習の心構えとして、学校との違いをわきまえるように」と語りました。

「学校ではたくましく生きる力のある人材育成を目指しているが、学校だけでは難しいので職場体験を通してみんなに身につけてほしい」の話に、みんな真剣に耳を傾けていました。

後日、担任の先生は、「自分の生き方を自分で考えることは大事なこと。講義の後、家族と仕事や生き方について話をした生徒もいましたよ」と話してくださいました。

生徒の感想には、「なんのために働くのか、働くとは何かについて深く考えたことがなかったので、改めて考え、自分なりに答えを出せてよかった」とか「職場体験では、礼儀正しく元気よく体験したい」とか、「自分の人生なので自分で考え納得いく人生を送りたい。人のためになる仕事を見つけて困っている人が少しでも安心できるように頑張りたい」などがありました。

1年生のみんな、5月の職場体験がさらに意義あるものになったようだね。

みんな真剣な表情で講義を聞いていました



うめっこ育て隊日記 ⑦5 平成31年1月16日(水)



オカリナの響きでムード満点

4年2組では宮田の歴史について学んでいますが、今日は「おはなし宅Q便」の皆さんが「おさべ親王と梅が里」という話を紙芝居で紹介してくれました。

以前、宮田村の商工会の方たちが伝説を物語にして、これを子どもたちにも分かりやすいように紙芝居が作られたといういきさつから始まり、紙芝居に加え地元に伝わる民話も3つ読んでくださいました。

紙芝居では、登場人物ごとに気持ちのこもったセリフが語られ、オカリナのBGMも入って子どもたちはどんどん話の世界に引き込まれていきます。読み聞かせのグループらしく、子どもたちに発声練習や台本の読み方の指導もしていただきました。

おはなし宅Q便の皆さんは何度も打ち合わせや練習を重ね、この日を迎えてくださいました。

終了後に感想を聞くと、「今回の発表に向け、改めて勉強する良い機会をいただきました。このお話をいただいて、紙芝居を探すことから始まり、15年ほど前に紙芝居を商工会から依頼され、活動した当時のことを思い出しました。子どもたちも一生懸命聞いてくれてよかったです。」とやさしい笑顔で答えてくださいました。



うめっこ育て隊日記 ⑦6 平成31年1月17日(木)

今日は西保育園のお餅つき。餅をついてくださる方と餅にきなこを付けてくださる方をお願いしたいと、保育園から要請があり、4人の方が手伝って下さいました。

ホールで子どもたちが見守る中、2人のNさんが杵を振り上げ、ペッタンペッタンと慣れた様子で次々とお餅をついていきます。

つきあがると、MさんとIさんがきなこやあんこを子どもたちと一緒に絡めていきました。

お餅つき終了後は、子どもたちとみんなでいただきました。つきたてのお餅はホッペが落ちそうなくらいおいしくて、みんなの顔もお供え餅のようにまん丸に。

実はこの日お手伝いを予定していた方のご都合が悪くなり、急遽助っ人で参加して下さいましたIさん。「初めての体験で楽しかったです。今後も何かあったらお手伝いしたいです」と、今回「うめっこ育て隊」に登録して下さいました。Mさんも「ヨガで「うめっこ育て隊」に登録をしているけど、今日は子どもたちと一緒に過ごせて楽しかったわ」とにっこり。

つき手のNさんお二人もお疲れ様でした。腰の方は大丈夫だったでしょうか？



子どもたちの声援を聞くと、餅つきにも力が入ります



きなこ付けを手伝うMさんとIさん

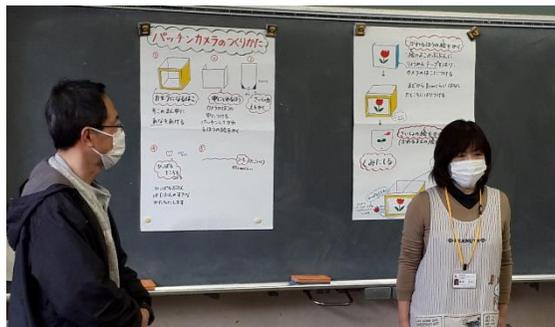


「あんこときなこ、どっちが好き？」
「う〜ん」



うめっこ育て隊日記 ⑦⑦ 平成31年1月22日(火)

「これからパッチンカメラを作ります」



見本を手に取り、大喜びの子どもたち



オリジナルパッチンカメラができました



1年生は工作の時間、地域の皆さんに支援をお願いしています。今日はうめっこらんど児童館のTさんと学童保育のIさんに、ペーパークラフトで「パッチンカメラ」作りを教えていただきました。牛乳パックで作った箱に書いた絵が、ひもを引っ張ると一瞬で切り替わるといふもの。Tさんは作り方の解説図を作ってきて分かりやすく説明したり、青虫がチョウチョになるものや、「ひょっこりはん」が現れたりする楽しい見本を作ってきてくださいました。

事前にビフォー・アフター2枚の絵の構想を練って来た子どもたち、早速絵を描いてその紙にひもをつけ、ひもの片方を箱底の穴に通したら完成。みんなそれぞれオリジナルのパッチンカメラが出来上がると、作品をTさん、Iさんに自慢げに見せに来ていました。

普段、うめっこらんどを利用している子たちも多く、お二人は、「いつも見ている子どもたちとは違う様子が見られて面白かった。みんな一生懸命作って、喜んでくれたので良かったです」とにっこり。

いろいろ準備も工夫してくださって、お疲れ様でした。

うめっこ育て隊日記 ⑦8 平成31年1月23日(水)



時計とベルの音を楽器を使って演奏しました。希望者を募ると下の通り、大人気！

1年生では今年1年間通して、MMCの皆さんに音楽の指導をお願いしています。今日は冬らしい曲を歌ったり演奏したり、季節を感じる授業になりました。「♪雪やこんこあられやこんこ♪」でおなじみの「雪」をクラスごとパートに分かれ重唱しましたが、合わせるのはなかなか大変です。

「シンコペイテッド・クロック」では木と金属の楽器を使ってそれぞれのパートを演奏します。「演奏したい子は手を挙げて」と呼びかけるとほとんどの子たちが手をあげましたが、いざ指名されると、少し緊張した面持ちで演奏していました。

最後は「アトと雪の女王～Let It Go～ありのままで～」をMさんが素晴らしい声で歌い始めると、よく知っている曲とあってみんな感情をこめて歌っていました。

「重唱は少し難しかったけど、みんな積極的で元気に参加してくれるので楽しいですね」とMMCの皆さんの感想でした。



うめっこ育て隊日記 ⑦9 平成31年1月23日(水)



4年2組で夏から取り組んでいる村の歴史の授業。校歌にある「梅が里」のいわれを知りたかった子どもたちに、教育委員会のKさんが話をしてくれました。

Kさんはまず「これはおじさん個人の意見として聞いてほしい。」と前置きし、校歌の作詞の材料となったであろう伝説「おさべ親王と梅が里」について解説しました。奈良時代の基本史料「続日本紀」を取り上げ、「伝説「おさべ親王と梅が里」のおさべ親王と井上内親王は実在の人物で都に住んでいたが、天皇家の暗殺計画の疑いをかけられ幽閉後殺されたらしい」と史実に基づき解説。その後の社会的不安が殺された二人のたたりによるものと思われ、二人が神格化されたこと、麻布を直接都に納めていた宮田は都とのつながりが深く都の話が村でも広がり、いつしか二人が宮田に住んでいたという話になって残ったこと、日本各地で同様の話があることなどを話してくださいました。

歴史を習っていない子どもたちにとって少々難しかったようでしたが、みんなからは「知らなかったことを知ることができてよかった」「おさべ親王のことを詳しく教えてもらってよかった」、先生も「これから歴史を習うとき、子どもたちはきっと今日のことを思い出してくれるでしょう。いい学びになりました」と感想を述べていました。

おさべ親王が宮田に住んでなかったことをはっきり伝えなかったKさんは「親王が詠んだという歌も物語も後の時代に作られ、校歌の作詞家が材料として取り上げたもの。親王たちが宮田にいなかったというニュアンスがみんなに伝わったかなあ」と心配顔。

一連の授業に関わった「おはなし宅Q便」さんとOさんも「神話の本当のところを知りたい」と授業を参観し、「良い勉強になりました」と述べていました。

終了後は、同時刻に1年生の音楽を支援していたMMCさんと一緒に休んでいただきました。

「各分野に長けた地域の皆さんに教えてもらっている子どもたちはなんて幸せ」と感じる1コマでした。



うめっこ育て隊日記 ⑧ 平成31年1月29日(火)



総合の時間に去年から間伐について学び始め、夏から地域の皆さんから森林について講義を受け、間伐の見学もした6年2組。今回は間伐材を使って木工体験をしました。指導を引き受けてくださったMさんは、今日まで何度も担任の先生と打ち合わせを重ねてきました。これまで中学校のチャレトラなどで支援をいただいているので、子どもたちの工作レベルもよくご存じで、今日も一人分ずつ材料を切りそろえてきてくださいました。今回作るのは「小物入れ」。細い板をのこぎりで切りますが、のこぎりを使い慣れていない子どもたちは一苦勞。やっと切った板を並べてテープで張り、ボンドを付けたら底板と上板を貼り合わせて、今日はここまで。

ところが側面の板と底と上が何度やってもキチンと合わず、みんな一苦勞。明日の作業はうまくいくかな・・・

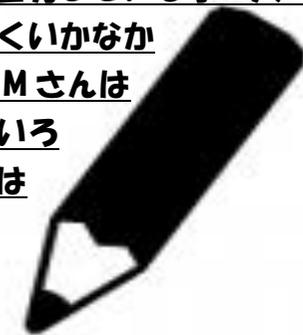


うめっこ育て隊日記 ⑧1 平成31年1月30日(水)



昨日に続き6年2組の仕事を指導して下さるMさん。今日も児童一人分ずつ「鉛筆立て」の材料を用意して下さいました。昨日、のこぎり作業で手間取っていたため、すべてMさんが事前にカットし、紙やすりも使いやすいように四角柱に貼ったものを人数分作ってきて下さいました。

8枚の板をテープで張り、底板に接着。昨日と同じ流れなので、何となくコツをつかんでいる子も。昨日作った箱のフタの部分のをのこぎりで切り、フタの上面に組木の飾りをつけると、豪華な小物入れになりました。でもどうしても隙間が開いてがっかりしている子に「ボンドを埋めて紙やすりでこすってご覧」と天の声。やってみると結構きれいに仕上がり、ホッとした様子。Mさんは苦勞している子一人一人の作品に手を加え仕上げて下さいました。なかなか上手いかなかった子も、苦勞して作った作品に愛着がわいた様子。終了後Mさんは「最近なかなか木工をする機会が少ないので、家でもいろいろ作ってほしい」と話していました。先生からは「子どもたちはMさんの職人技に驚いていました。地域の方と関わる機会をいただき感謝しています」との声が届きました



うめっこ育て隊日記 ⑧2 平成31年1月30日(水)

担当の先生から説明を受ける皆さん



小学校から漢字検定の試験監督官を依頼され、引き受けてくださったHさん、「おやじの会」のJさん、Uさん、Kさん、「おやじ道場」のHさん、Kさん、Iさんの7人の皆さんと、試験終了後の子どもたちの見守りを引き受けてくださったSさん。インフルエンザが流行していて、急遽メンバーが入れ替わったりもしましたが、お忙しい中、皆さんが集まってくださいました。

担当の先生から説明を聞いた後、各教室に分かれ、試験中は巡回、時間の告知、終了の合図、答案用紙の回収と確認など、忙しく対応してくださいました。

終了後、「子どもが授業参観日より真剣に試験を受けていた」「グループで支援をすることで、より結束が強まった」「教室の割に人数が多すぎて、通路が狭かった」「教室によっては時計が見にくいところがあり、かわいそうだった」など色々な意見を聞くことができました。

見守りをしていたSさんは、試験の後に宿題を済ます子どもの様子を見て、「えらい子どもたちが多くてビックリ」と感心していました。



うめっこ育て隊日記 ⑧3 平成31年1月31日(木)



2学年ずつ、ほぼ月2回行われている小学校の「読み聞かせ」。毎回子どもたちが楽しみにしているのに、猛威を振るっているインフルエンザのおかげで1月17日は中止になってしまいました。1年生と6年生のみんなには今年最初の回だったのに、がっかり。

今日読み聞かせをしてもらった3年と4年生のみんなは、本の世界に引き込まれ、楽しい10分間を過ごすことができました。

